

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
March

No. 156

3



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 3

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手対策のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉入札販売推進
- きのこ種菌・種駒推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計春菊販売 (3月7日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計山うど販売 (4月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 雪害によるハウス建替資材の手配及び納入
- 雪害による出荷資材対応
- 春夏用出荷資材予約・当用推進
(ほうれん草・きゅうり・ふき他)
- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 春夏用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
2月28日(土)～3月1日(日)
グッドぐんまの農畜産物フェア
3月20日(金)～23日(月) 40周年 大創業祭
3月21日(土)～22日(日)
グッドぐんまの農畜産物フェア
☆愛菜館
3月7日(土)～8日(日) 14周年 大感謝セール
3月20日(金)～23日(月) お彼岸セール
3月8日(日)・18日(水)・28日(土)
8の日 お米特売

- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 施設園芸肥料推進
- 水稻農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (周年)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- エコープペットボトル茶推進 (周年)
- デコボン推進 (2月～3月)
- 仕込み味噌推進 (平成26年10月～平成27年3月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 新生活応援キャンペーン



第9回 JA農産物検査員鑑定技術コンテスト
(2.5 JAぐんま研修センター)

■鑑定技術向上に向け真剣な眼差し

2月5日(木)、JAグループ群馬農産物検査協議会主催による、米麦の鑑定技術の維持・向上を目的とした「第9回 JA農産物検査員鑑定技術コンテスト」が開催され、各JAの検査員20名が参加しました。コンテストは、水稻うるち玄米・水稻もち玄米・小麦の品位鑑定や銘柄鑑定など、計50サンプルを対象に行われ、知識と経験を活かし鑑定技術を競いました。競技の結果、成績上位者は3月6日(金)に千葉県で行われた「JAグループ全国農産物鑑定会及び意見交換会(全国大会)」へ出場しました。

■こんにゃくの今を考える

2月9日(月)～10日(火)、こんにゃく研究会員の資質向上を図るとともに経営の改善に資することを目的とした「平成26年度 群馬県こんにゃく実績検討会」が開催されました。群馬県こんにゃく研究会員・県・団体関係者等、約200名が参加し、第41回群馬県こんにゃく立毛共進会表彰式、第19回ジャンボ生玉コンテスト表彰式や県内各主産地のこんにゃく栽培代表者による経営実績の発表及び情勢報告、福岡石橋屋の石橋氏による講演会などが行われました。



平成26年度 群馬県こんにゃく実績検討会
(2.9～10 渋川市内)



◀ (株)加藤ファーム



樋口 勝廣氏 ▶

第7回 群馬県産上州和牛枝肉共進会褒賞授与式
(2.13 渋川家畜市場)

■上州和牛銘柄の確立を目指す

1月22日(木)～26日(月)、群馬県内にて生産され、かつ県内にて肥育された肉牛の枝肉共進会を通じ、繁殖及び肥育農家相互の飼養管理技術の向上と肉質向上を目指し、より強固な生産基盤の確立と肉牛経営の安定に寄与することを目的とした「第7回群馬県産上州和牛枝肉共進会」が開催されました。厳正な審査の結果入賞者が決定し、2月13日(金)に褒賞授与式が執り行われました。最優秀賞受賞者をご紹介します。

肥育者	
JAにったみどり	(株)加藤ファーム
繁殖者	
JAはぐくみ	樋口 勝廣



JA-SS ウィンターキャンペーン抽選会
(2.16 JAビル)



じゃがいも栽培講習会・マメトラ管理機取扱講習会
(2.21 花木流通センター)

■豪華賞品当選者が決定

2月16日(月)、日頃からJA-SSをご利用してくださっているお客様に感謝の気持ちを込めて、上州牛サーロインステーキ用・登利平商品券・ナノックスギフトが800名に当たる「ウィンターキャンペーン」の抽選会が、須藤本部長・須藤副本部長他関係者により行われました。このキャンペーンは、平成26年12月～27年1月までの2ヶ月間実施され、応募総数49,367枚の中から当選者が決定しました。

■家庭菜園のコツを学ぶ

2月21日(土)、花木流通センターの収穫体験農園において、「じゃがいも栽培講習会・マメトラ管理機取扱講習会」が開催されました。当日は、生産者の加藤氏を講師に迎え、土づくりをはじめとする栽培管理方法について、実演を交えた講義が行われました。初心者にも分かりやすい説明が人気で、毎年開催されています。また、併催されたマメトラ管理機取扱講習会も好評で、多くの人が参加しました。



そば打ち講習会
(2.22 愛菜館)



平成26年度食品の適正表示講習会
(2.23 JAビル)

■手作りの味を楽しもう

2月22日(日)、愛菜館において「そば打ち講習会」が開催されました。この講習会は2ヶ月に一度行われており、消費者へ県産のそば粉を使用したそばの打ち方を教えています。店内での開催となるため、定員は午前(経験者の部)と午後(初心者の部)の各3名ずつと少人数制。店員による丁寧な指導が人気で、女性だけでなく男性の参加者も多いとのこと。参加希望の方は、愛菜館へお問い合わせください。

■食品の品質・表示管理態勢強化を図る

2月23日(月)、コンプライアンス推進部は、全国本部食品品質・表示管理部の高津戸氏を講師に迎え、「平成26年度 食品の適正表示講習会」を開催しました。食品表示は、消費者が商品を購入する上での貴重な情報源であり、事業者は正しい食品情報を伝えなければなりません。講習会には、当県本部の食品安全推進実施管理者及び食品表示点検者の他に、(株)群馬県食肉卸売市場や群馬県農協チキンフーズ(株)の担当者も出席しました。



平成26年度群馬県JA-TAC交流会
(2.24 前橋市内)



花木流通センター・愛菜館合同研修会
(2.26 JAビル)

■TACのモチベーション向上へ

2月24日(火)、現場の具体的活動事例を報告する場を設け、意見交換を行うことでTACの定着・活性化を図ることを目的とした「平成26年度群馬県JA-TAC交流会」が開催され、県内JA・当県本部の関係役職員等が出席しました。営農総合支援センター主催により、情勢報告やTAC活動表彰受賞者による取組事例発表、公益社団法人日本農業法人協会の藤岡会長を講師に迎えた「農業法人経営者がJAとTACに期待すること」と題した基調講演が行われました。

■安全・安心を消費者へ

2月26日(月)、花木流通センターは、「花木流通センター・愛菜館合同研修会」を開催しました。午前中は、青果物を出荷している組合員を対象に「農薬適正使用講習会」を行い、農薬基礎や作物残留基準値に関する新しい評価基準の導入について説明しました。午後は、惣菜・加工品を出荷している組合員を対象に「食品表示適正化講習会」を行い、事業者の責務である適正表示への取り組みについて説明しました。

農機事業の更なる強化を図る

～ 2.20 平成26年度群馬県農機事業経営委員会 JAビル ～

2月20日(金)、平成26年度群馬県農機事業経営委員会がJAビルにおいて開催され、より効率的で組合員ニーズに対応した経営についての話し合いが行われました。大澤会長や亀井副会長をはじめとする、県内JAの組合長・理事長及び当県

本部の関係役職員からなる経営委員により、(1)平成26年度事業報告、(2)平成27年度事業計画、(3)覚書の締結、(4)経営委員会役員の選任、といった協議事項についての検討が行われ、全て可決承認されました。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
ミルクカップ ドッジボール選手権大会 後編／JA群馬乳販連	※ 4月5日(日)	AM 8:00～8:30
	4月6日(月)	PM 9:00～9:30
三隅さんありがとうスペシャル！／JA群馬中央会	※ 4月12日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子アナ

低塩
タイプ^{※1}

群馬県産オリジナル
トマトジュース

パスタやスープ、リゾット
などのお料理の材料
としても便利です。

群馬県産**完熟トマト**を
旬にしぼったストレートの
トマトジュースです。

**限定
製造**

1ケース・30缶入
(190g×6本×5)

お問合せ・ご注文先

JA全農ぐんま 米麦特産課

Tel 027-220-2251

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが
120mg/100ml以下と定義されています。(本品は83mg/100ml)



組合員の皆様へ A-coop

おいしさ
長持ち!!
ロングライフパン
賞味期限
製造日より50日

ソフトタイプ
クロワッサン
しっとり食感 米粉入り

新登場

トーストすると
サクサクおいしい
**本格
クロワッサン**



組合員の皆様へ A-coop

冷し中華の
美味しい季節

国産
愛用

冷し中華

国産小麦粉づくりの
もみ切り打ち麺

国産黒酢と
りんご果汁の
まろやか
スープ



ゆで時間
3~4分

エーコープ
国産小麦粉づくりの
冷し中華
2人前/6袋入

酸味を抑えた
コクのある
白みそ仕立ての
ごまだれ

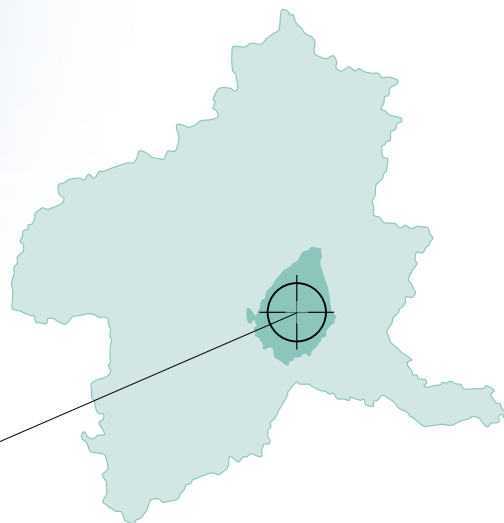


ゆで時間
3~4分

エーコープ
国産小麦粉づくりの
冷し中華ごまだれ
2人前/6袋入

農業 チャレンジャー

JA前橋市



家族と共に こだわりの野菜づくり

JA前橋市管内 下田 将文さん



下田 将文
(しもだ・まさふみ) さん
1982年生まれ、32歳。

栽培面積：6ha
趣味：スポーツ
(室内テニス・スポレック・
インディアカ・ボーリング)

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JA前橋市管内で露地野菜の栽培を行う下田さんです。「幼い頃から実家の農作業を手伝っており、3人兄弟の中で自分が一番農業に向いていたのだと思います。高校を卒業後、長野県の八ヶ岳中央農業実践大学校に進学しました。在学中に学んだことは現在も大いにいかされており、やりがいや楽しさを見出すことが出来ました。その後、なすの栽培を学ぶため、高知県へ。最先端の技術などを学び、2年半の研修を経て地元で就農しました。」と話します。

家族と共に、キャベツ・ほうれん草・赤しそ・なす・ブロッコリーを栽培しており、今の時期(2月)は、キャベツとほうれん草の収穫を行っています。

熱き思いで農業に邁進

下田さんの農場では、農薬を極力使用しない減農薬栽培にこだわっています。「消費者の皆さんに、『安全・安心・美味しい』を提供したいという思いで日々の作業にあたっています。それに加えて、見た目の良さも重視し、高

品質な野菜づくりを心掛けています。」と話してくれました。

また、JAの青年部に所属し、地域の方々と交流を図ることで、農業の魅力を伝える活動も行っています。幼稚園児の収穫体験や餅つき大会、農業祭などのイベントに参加することはリフレッシュにもなり、毎年楽しみにしているそうです。

理解し支えてくれる家族に感謝

最後に、今後の展望を伺うと、「昨年、父親から経営を引き継ぎました。しかし、まだまだ両親に教わることも多く、自分が先頭に立ってやるというよりは、家族で協力し合ってやっています。農業は1人ではできません。両親や妻には、本当に感謝しています。今後も規模は拡大せず、今ある環境で高品質な野菜を安定的に生産していきたいです。これからも、自分が食べて美味しいと思うものを、消費者の皆さんに自信をもって提供していきたいですね。」と下田さん。

こだわりの野菜生産を通じて、地域農業の活性化へも取り組む姿に、今後一層の活躍が期待されます。



- 1 「趣味のスポーツをしたり、家族と過ごす時間も大切にしている」と下田さん。
- 2 J Aの職員と共に品質をチェック。
- 3 収穫したばかりの美味しそうなキャベツ。
- 4 圃場の様子。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA婦恋村
田代支所

佐藤 益弘さん

Profile

さとう・ますひろ（35歳）

趣味..... バイク

休日の過ごし方..... 家族と一緒に過ごす

好きな食べ物..... キャベツ・肉

●職場の皆さんからみた佐藤さん

「組合員さんからの信頼も厚く、後輩からも慕われています。職員一同、今後一層の活躍を期待しています!」

「入組10年目 地域の支えに感謝」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

前橋市出身ですが、妻の実家が婦恋村だったこともあり、結婚を機に移住しました。もともと自然が大好きで、農業にも興味があったため、JAへの就職を決めました。

——実際に入組してみてどうでしたか？

入組当初は燃料課に配属され、4年間JA-SSに勤務していました。最初は不安なこともありましたが、職員や利用して下さる地域の方々が温かく接して下さったことで、気持ちよく働くことができました。

——現在の仕事内容を教えてください。

ここ田代支所で、営農購買業務を担当して6年目になります。肥料・農薬などの営農資材の受発注や配送、営農指導などが主な仕事です。異動してきたばかりの頃は右も左も分からず、苦勞しました。そんな時、声をかけてくれたのは組合員の皆さんでした。様々なことを教えてくれ、対等に接してくれたことが本当に嬉しかったですね。今でも、組合員の皆さんと積極的にコ

ミュニケーションをとり、情報の共有化を図っています。

——どんな時にやりがいを感じますか？

「ありがとう」「助かったよ」と言ってもらえた時です。自分が役立てたことを実感します。

——仕事をするにあたり、気を付けていることがあれば教えてください。

「組合員の目線に立つ」ということです。日頃の業務において、常に心がけています。

——職場の雰囲気はどうか？

とても活気があります。仕事は1人では出来ないの、チームワークを大切にしています。

——趣味はバイクとのことですが。

はい。10年程前から乗っています。大好きなバイクいじりに没頭することで、良いリフレッシュになっています。最近は、茨城県へ行きました。次は、北陸を目指したいと思います。

——家族と過ごす時間も大切にされているそうですね。

子供が2人いるので、外で一緒に遊んだりしています。子供たちの笑顔に元気づけられています。

——最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

JAで働いていて一番感じることは、「人に支えてもらっている」ということです。周囲の皆さんがいたからこそ、今の自分があります。地域へ恩返しするためにも、より良いサービスを心掛け、今後も婦恋高原キャベツの安定生産と販売促進に取り組んでいきます!

——佐藤さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は2月25日に1月の牛乳乳製品統計を公表した。1月生乳生産量は62万3,753tで前年同月比0.4%の減となった。北海道は32万5,116t(前年同月比0.9%増)で生産量の全国シェアは52.1%となった。

都府県の生産量は29万8,637tとなり、前年同月比で1.8%減少した。

■販売及び乳製品情勢

1月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万4,487t(前年同月比0.2%増)、乳製品向けが30万4,357t(〃1.2%減)となった。

飲用牛乳等生産量は27万7,548ℓ(〃0.2%増)で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が24万1,217ℓ(〃1.0%増)、さらに乳飲料は9万7,872ℓ(〃1.7%減)で前月より2.7ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	626,764	650,316	618,861	618,018	600,000	583,464
	群馬(委託実績)	18,815	19,236	17,948	17,609	16,953	16,478
	本会(委託実績)	6,193	6,293	5,833	5,646	5,411	5,264
用途別処理量	飲用牛乳等向け	318,995	342,141	345,154	337,099	316,617	342,273
	乳製品向け	302,703	303,151	268,658	275,983	278,484	236,281
	その他向け	5,066	5,024	5,049	4,936	4,899	4,910
前年対比	生乳生産量(全国)	96.4	96.9	97.0	97.8	98.8	98.4
	〃(群馬)	96.0	96.4	96.3	96.3	96.5	96.6
	〃(本会)	94.4	94.8	94.7	94.2	95.5	94.0
	飲用牛乳等向け	98.4	98.8	99.6	96.4	96.2	96.8
	乳製品向け	94.2	94.7	93.6	99.4	101.6	100.6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	598,138	583,790	613,257	623,753			6,116,361
	16,997	16,740	17,449	17,994			176,220
	5,468	5,364	5,559	5,729			56,760
	345,738	324,568	306,000	314,487			3,293,072
	247,492	254,239	302,239	304,357			2,773,587
	4,908	4,983	5,018	4,909			49,702
	98.3	99.3	99.5	99.6			98.2
	96.6	98.1	97.2	98.3			96.8
	94.8	96.4	95.8	97.1			95.2
	98.7	99.7	99.6	100.2			98.4
	97.7	98.7	99.2	98.8			97.9

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(3月予想)

牛肉は持合い。生産・消費に大きな変化はない見通し。消費面では卒業・入学式シーズンを前に高級部位の動きがやや上向く見込み。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,500円中心
和牛去勢A4 2,250円中心

和牛去勢A3 2,100円中心
和牛去勢A2 1,780円中心
交雑去勢B5 1,840円中心
交雑去勢B4 1,540円中心

交雑去勢B3 1,350円中心
交雑去勢B2 1,300円中心
乳牛去勢B2 850円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	25年-26年 1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,900	1,904	1,902	1,896
	26年-27年 1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288		2,052
	前年格差 150	85	▲8	33	127	110	200	167	87	397	384		157
和牛去勢A3	25年-26年 1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,658	1,693	1,718	1,716
	26年-27年 1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079		1,841
	前年格差 42	▲53	▲52	▲2	77	87	208	167	120	401	386		125
和牛去勢A2	25年-26年 1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,371	1,516	1,478	1,505
	26年-27年 1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000		1,657
	前年格差 8	20	▲36	14	127	142	95	284	65	448	484		153

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
25年-26年	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	1,132	1,186	1,139	13,965
26年-27年	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091		13,217
前年増減	55	169	206	136	▲30	126	70	▲119	0	▲127	▲95		▲748

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 565円/kg平均(前月比98.6%)
②F1価格(去勢) 250~300kg 1,265円/kg平均(雌) 250~300kg 1,153円/kg平均
③和牛子牛(去勢) 654千円平均(前月比104%) (雌) 566千円平均(前月比104%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
24年-25年(A)		397	420	479	443	468	425	365	358	418	363	390	404	411
25年-26年(B)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(C)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588		569
(B-A)		53	79	6	55	39	74	101	119	103	95	77	92	74
(C-B)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121		84

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	25-26年	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	43,425	39,985	39,852	494,071
	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138		434,982
前年比(%)		105.4	96.9	105.9	98.8	92.6	102.7	95.7	84.1	91.2	90.2	92.9		88.0

肉豚生産出荷予測（全国） * 1月まで実績／2月以降の出荷予測は

2月16日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	10月	11月	12月	10~12月	1月	2月	3月	1~3月	4月	5月	6月	6~7月	7月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,429	1,288	1,470	4,187	1,349	1,291	1,356	4,029	1,349	1,282	1,267	3,899	1,293
前年同月比(%)		93	86	95	91	93	96	99	97	97	98	101	99	94

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、3月の出荷見込頭数は1,356千頭(前年同月比99%)となっている。その後は4月1,349千頭(〃97%)、5月1,282千頭(〃98%)と予想されている。豚肉相場は、米国西海岸の港湾ストで激減した輸入物が次第に増加する見通しの為、弱持合い。

ただ、物流の回復には時間がかかるため、国産を求める動きは残り、相場は前年を上回る水準が続く見込み。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

15年3月182円(見込み) 110%(前年比)

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		172	164	155	157	175	211	220	260	280	224	240	230	207
26年-27年(B)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209		215
(B-A)		51	40	44	33	17	20	20	▲18	▲32	▲32	▲31		8
全国基金	25-26年	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0	0	0	0	0	0	0	
補填	25-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907	0		

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：2月の平均単価は209円(前年同月▲31円)と前年同月を下回り、平成26年3月～平成27年2月期平均は217円(前年同期比+14円)であった。

■出荷動向：春が近づくにつれ産卵率が高くなり、卵重も増え、生産量が増加する。

■需要動向：当面は気温が低いことから鍋物などの業務向けが動く。当面の価格は横ばいだが、中旬以降は学校給食がなくなる影響が大きく、価格が下がる見通し。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	25-26年	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	3,060	2,845	2,688	28,525
実績(t)	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192				19,873
前年比(%)		100.2	107.6	134.8	116.5	85.9	105.7	103.3	76.6	83.3				69.7
餌付羽数	25-26年	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	7,251	7,569	7,734	90,670
(千羽)	26-27年	7,715	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941			80,165
前年比(%)		99.7	106.7	106.5	116.8	102.2	105.5	109.9	98.7	108.6	109.5			88.4

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 22年:194円
(1) 16年:173円 (4) 19年:169円 (8) 23年:188円
(2) 17年:204円 (5) 20年:193円 (9) 24年:181円
(3) 18年:184円 (6) 21年:175円 (10) 25年:207円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

2月10日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの新穀2014/15年度産における単収、期首在庫および供給量はそれぞれ171.0ブッシェル/エーカー、1,232百万ブッシェルおよび15,472百万ブッシェルと前月発表から据置で見通された。需要量については、異性化糖などの工業用向けといった米国内の需要が増加し、全体では前月発表から50百万ブッシェル上方修正された。

シカゴ定期は、2014/15年度については今回の米国農務省需給見通しで材料が出尽くしたとの見方がある一方、今後は2015/16年度について市場の関心が集まりだすと思われる。目先は2月19日から20日に開催されるアウトLOOKフォーラムにおける2015/16年度とうもろこしの作付面積予想、および3月末発表の2015/16年度作付面積意向調査に注目が集まると思われる。

FOBプレミアムは、例年の河川凍結による大規模な混乱が起きておらず、船運賃も低水準で推移していることから、落ち着いた様相を呈している。

②大豆粕

2月10日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の新穀2014/15年度産は、単収が47.8ブッシェル/エーカーと据え置かれたものの、輸入量が10百万ブッシェル上方修正の25百万ブッシェルと見通されたため、供給量としては4,086百万ブッシェル（前回発表4,076百万ブッシェル）となった。需要量は搾油需要および輸出需要の増加により、前回発表から35百万ブッシェル上方修正され、3,701百万ブッシェルとなった。期末在庫は需要量の増加により、385百万ブッシェル（在庫率11.18%）と前回発表（410百万ブッシェル）から下方修正された。

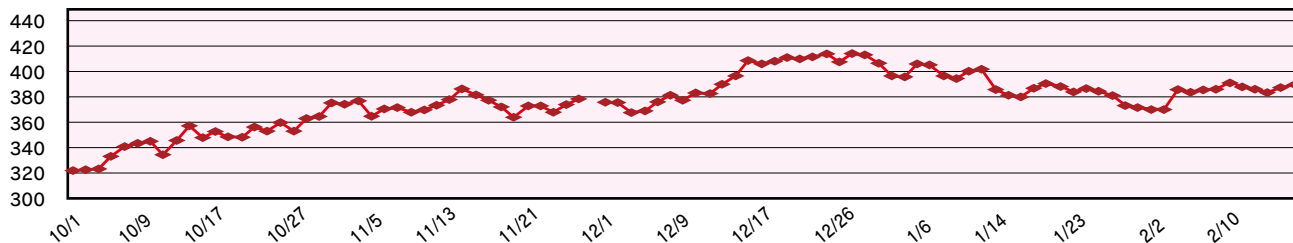
シカゴ定期は、投機筋の動きにより、上昇した大豆相場につられ、3月限は340ドル/ショートトン前後で推移している。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、燃料価格が下落したことを受け軟調に推移していたが、直近については原油価格が上昇したことと、これからの南米新穀輸送を見据えて船の引合いが強まっていることから、横ばいから上げ基調で推移している。

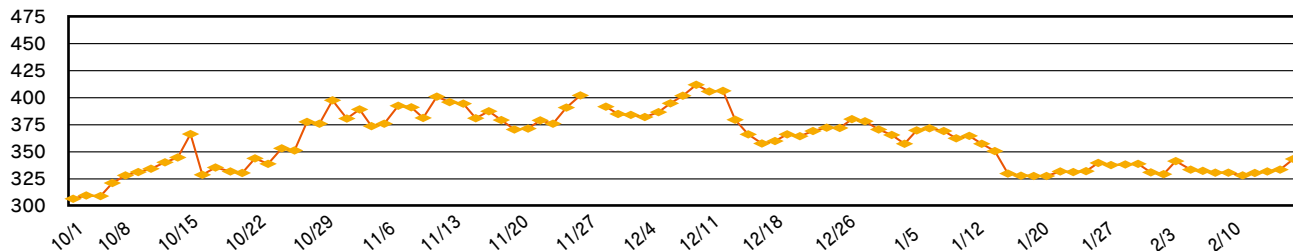
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



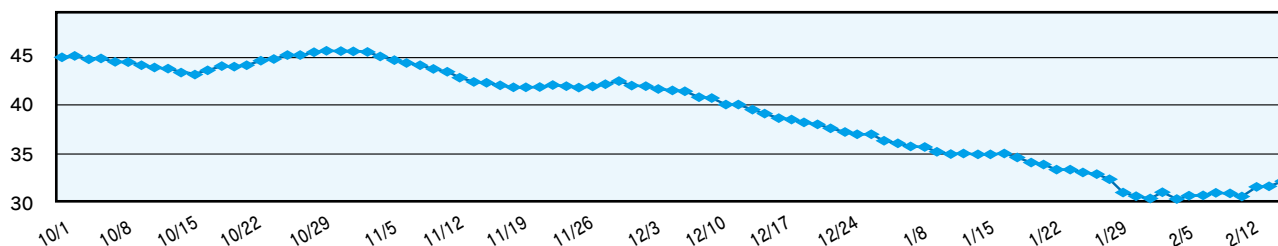
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今年も、春の園芸シーズンがやってきました!! 花木流通センターでは、家庭用から農業用まで、幅広い園芸用品を取り揃えております。そして、この時期特に賑わいを見せるのが野菜苗売り場です。約80種類の豊富な野菜苗は、毎年多くのお客様に大好評。今年も、「ゴールデンウィーク菜園フェア」を開催いたしますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

4月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

開催日	内 容
4月2日(木) 10:00~ 14:00~	花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】
4月4日(土) ・5日(日) 両日共に10:00~	栽培講習会 (里芋・生姜・トウモロコシ・枝豆・落花生) 【参加費無料・申込み不要】
4月5日(日) 10:00~	花の寄せ植え講習会 (20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先：ふらわーらんど】
4月11日(土) ・4月12日(日) 両日共に9:00~	栽培講習会&管理機取扱講習会 (なす・きゅうり・トマトの定植) 【参加費無料・申込み不要】
4月29日(水) ~5月6日(水)	ゴールデンウィーク 菜園フェア

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

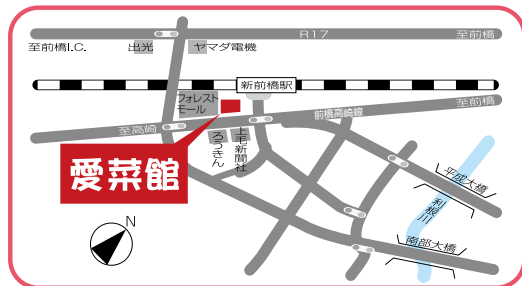
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



ほうれん草のライスパウダーシフォンケーキ 豆乳コンフィチュール

材 料

1ホールケーキ(1046cal) 豆乳コンフィチュール(642cal)

【ほうれん草のライスパウダーシフォンケーキ】

ほうれん草	15g	水	35cc	コーンスターチ	
卵黄	3個	ラム酒	小1/2		15g
砂糖	30g	米粉	60g	卵白	3個
白ごま油	30cc			砂糖	35g

【豆乳コンフィチュール】

A (グラニュー糖	生クリーム	100g
50g	豆乳	100g

作り方

- 1 ほうれん草を茹で、フードプロセッサーで粗いペースト状にする。
- 2 ボウルに卵黄を入れ、ほぐす。そこへ砂糖を加え、白っぽくなるまで混ぜた後、白ごま油を加え馴染ませる。
- 3 2に水を2回に分けて加えよく混ぜ、ラム酒を加えて更に混ぜる。
- 4 米粉とコーンスターチを合わせてふるいにかける。
- 5 3に4の粉を加え、しっかり練る。そこに1を加え、だまがないように混ぜる。
- 6 卵白はこしを切り、しっかりと泡立てる。そこに砂糖を2回に分けて入れ、混ぜる。
- 7 5に6の1/3を加えて混ぜ、ボウルを回しながら残りの2/3を加え、切るように混ぜる。
- 8 7を型に流し、空気を抜く。
- 9 8を180℃のオーブンで25～35分焼く。焼きあがったら逆さにして冷ます。
- 10 鍋にAの材料を入れ、中火でとろみがつくまで煮る。
- 11 9のシフォンケーキの上に、10のコンフィチュールをかけて食べる。